

総務管理課



交通指導所



信州こどもカフェ



フードドライブ

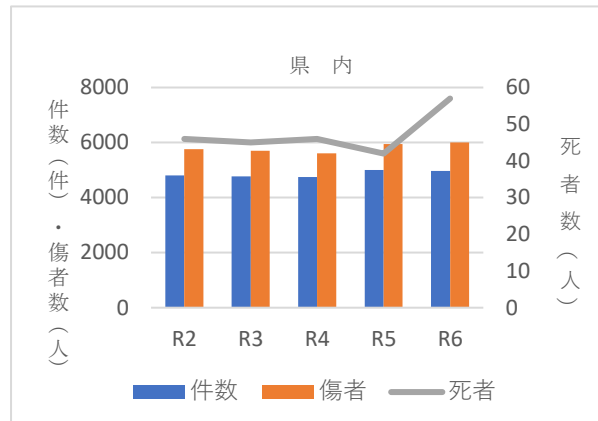
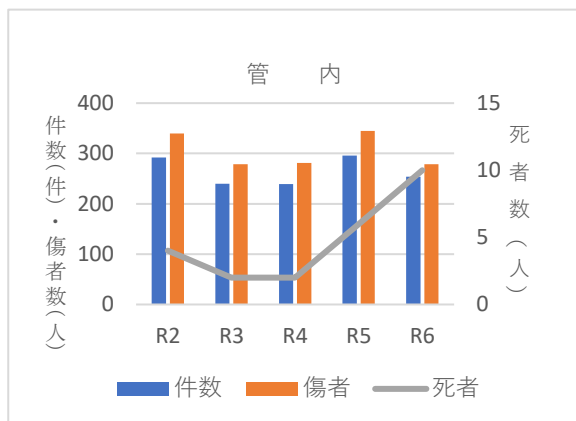


南信州地方部防災訓練

1 交通安全

(1) 交通事故発生状況

令和6年の管内の交通事故発生状況は、交通事故件数 254 件（対前年比-42 件）、死者 10 人（対前年比+4 人）、傷者 279 人（対前年比-66 件）となり、事故件数と傷者数は減少したものの、死者数は増加しています。



(2) 交通安全対策

市町村、警察、交通安全協会及び関係団体と連携し、年4回の交通安全運動のほか、交通死亡事故多発時に啓発活動を実施しました。



人波作戦による呼びかけ（平谷村道の駅）



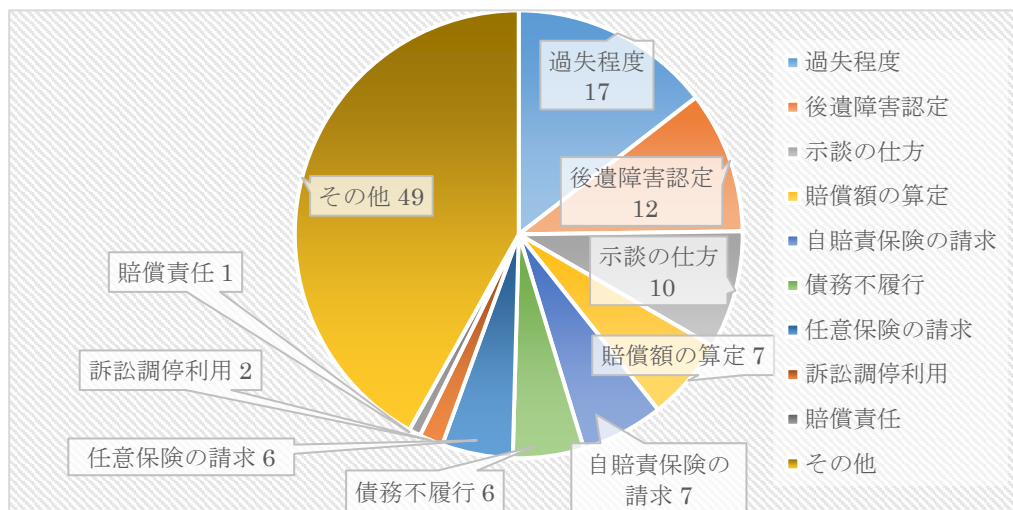
飯田高校交通安全啓発活動

(3) 交通事故相談所の状況

交通事故相談所飯田支所では、職員が以下のとおり交通事故相談に応じました。

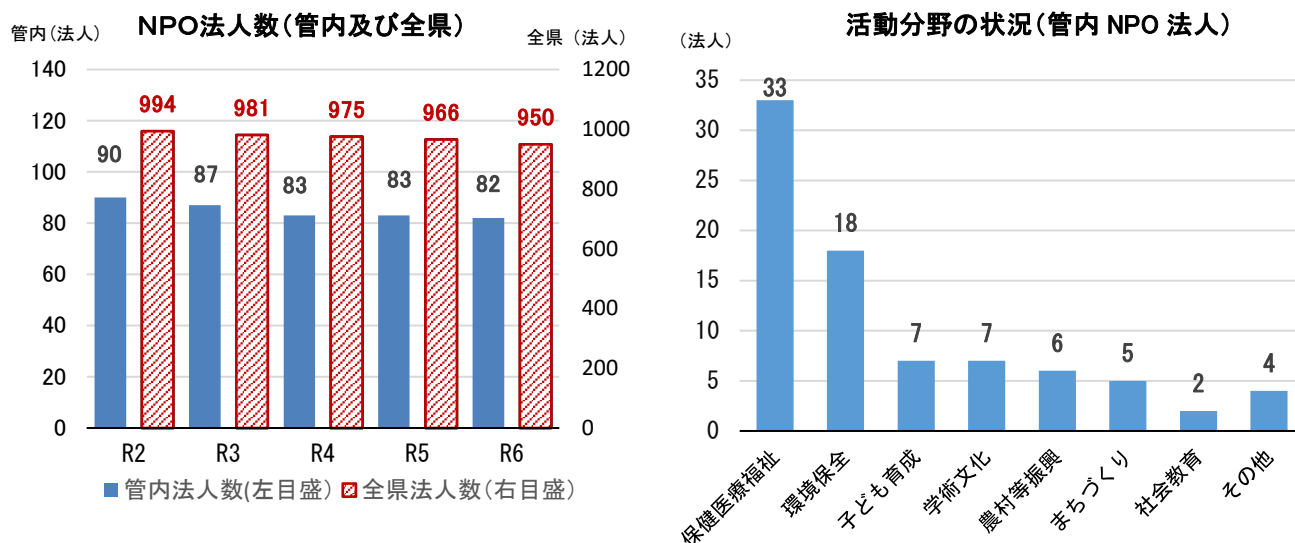
令和6年度交通事故相談（延べ117件）

（単位：件）



2 特定非営利活動法人（NPO法人）設立状況

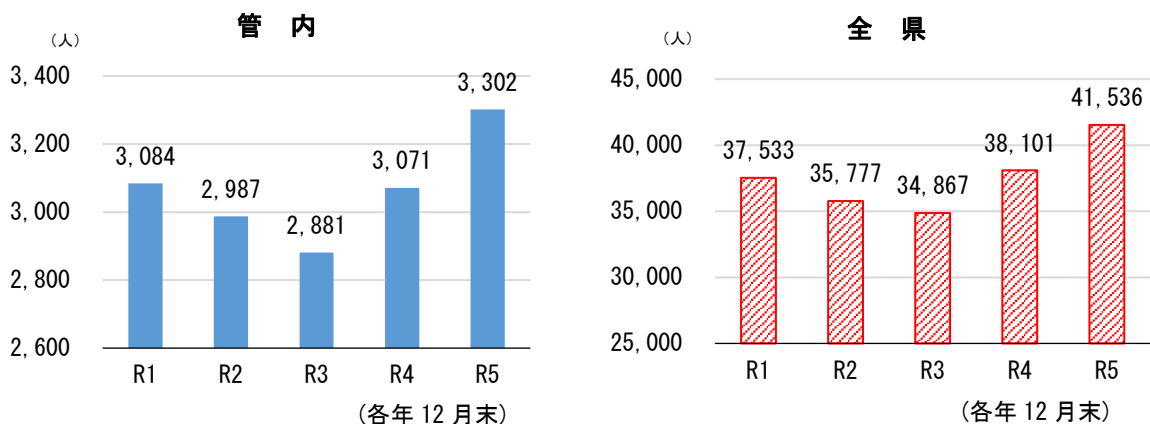
令和6年度末現在、管内にあるNPO法人の数は82法人となっており、主な活動分野としては、保健医療福祉分野が33法人、環境保全分野が18法人で、全体の6割を占めています。



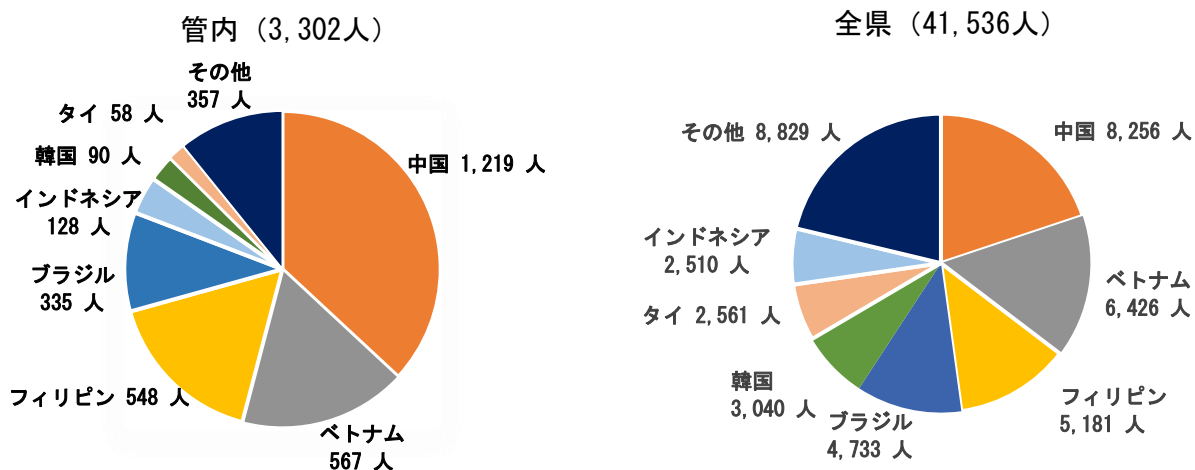
3 外国人住民の状況

(1) 外国人住民数の推移

管内の外国人住民数は令和元年から減少傾向にありましたが、令和4年以降増加し、令和5年には3,302人となっています。



(2) 外国人住民の主な国籍・地域別内訳（令和5年12月末）



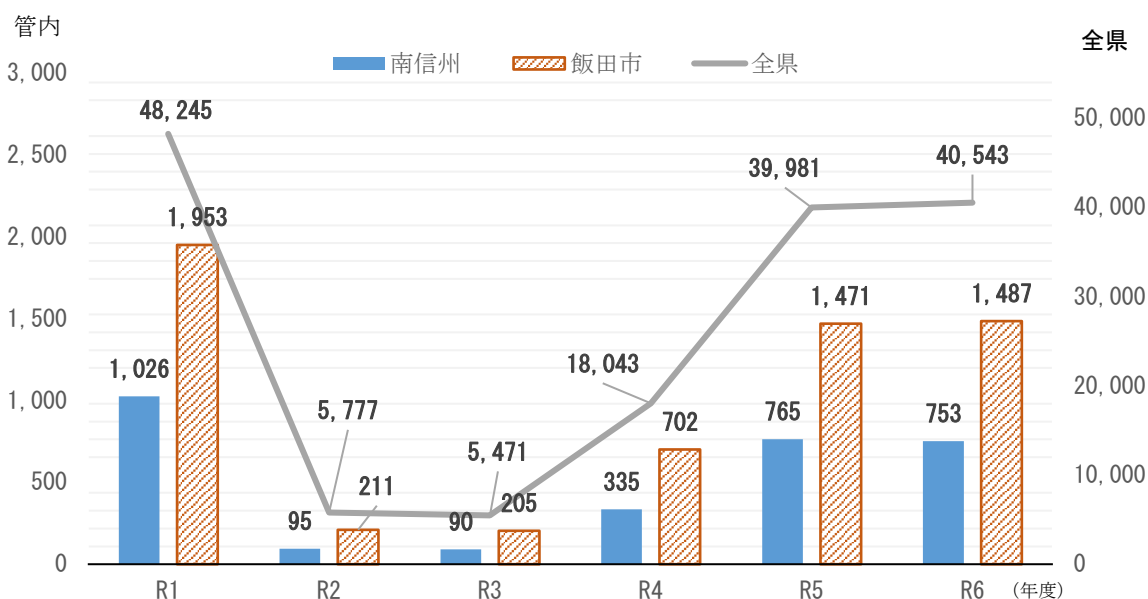
4 旅券申請状況

管内では、飯田合同庁舎のほか、平成 27 年 4 月 1 日から再委託により飯田市役所に旅券窓口を設置（市町村として県内初）し、旅券申請受付と交付事務を行っています。

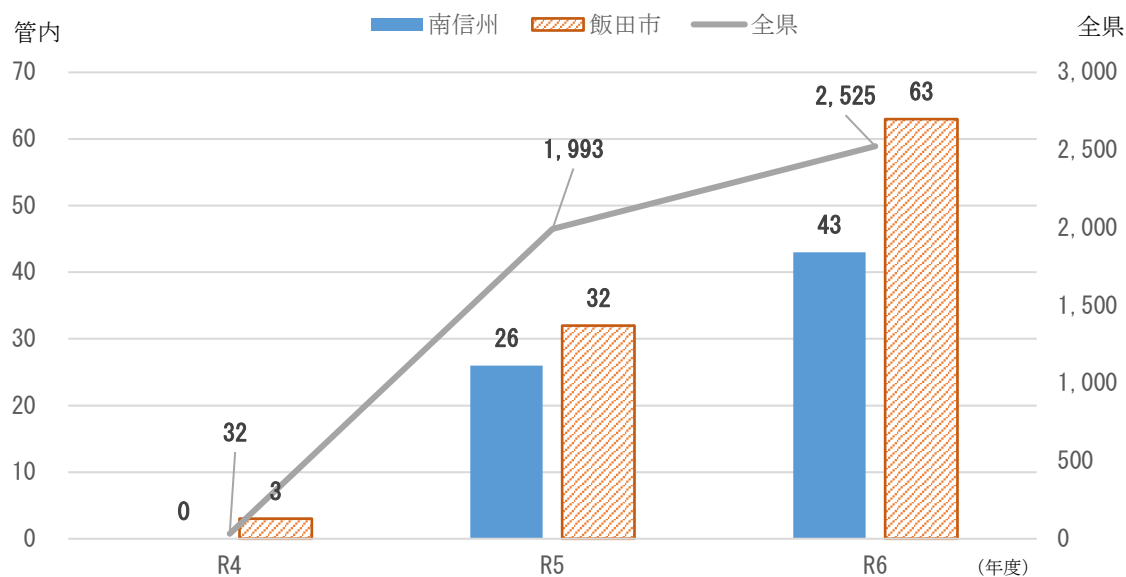
旅券申請件数は、全県・管内いずれも新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、令和 2 年度と 3 年度は大幅に減少しましたが、令和 5 年 5 月に行動制限が解除されて以降は増加しています。

また、マイナポータルからの電子申請も始まっており、令和 4 年 3 月からは申請の一部（有効期間が 1 年未満で新たな旅券の発給を申請する「切替申請」）で、令和 7 年 3 月 24 日からは全面的に電子申請が可能となりました。これにより、今後更にオンラインでの旅券申請件数の増加が見込まれます。

旅券申請件数の推移



旅券申請件数（電子申請）



5 子ども・若者支援施策

(1) 南信州地域振興局

◆ フードドライブ

県庁及び各地域振興局、各保健福祉事務所、県内のフードバンク関連団体の協働による「フードドライブ統一キャンペーン」を3回開催するとともに、南信州地域振興局で1回開催しました。

(令和6年度実績)

回数	期 日	名 称	重量(g)	主 催
1	6月10日～7月12日	夏休み前フードドライブ 統一キャンペーン	93,131	県庁 南信州地域振興局 飯田保健福祉事務所
2	10月1日～10月31日	食品ロス削減フードドライブ 統一キャンペーン	592,692	県庁 南信州地域振興局 飯田保健福祉事務所
3	11月25日～12月13日	年末フードドライブ 統一キャンペーン	920,500	県庁 南信州地域振興局 飯田保健福祉事務所
4	12月2日	人権研修会フードドライブ	13,828	南信州地域振興局 総務管理課
合 計			1,620,151	

※「南信州子ども応援プラットフォーム」が開催するフードドライブと合わせ、年間で約2,326kgを超える食料品の寄付をいただきました。

(2) 将来世代応援県民会議南信州地域会議

幼少期から青年期まで切れ目ない支援を推進するため、地域の関係機関で構成する長野県将来世代応援県民会議南信州地域会議を開催し、地域課題に応じた重点取組の推進と全県的取組の浸透に努めました。

◆ 啓発活動

県では、青少年の健全育成を推進するため、7月、11月を強化月間として、信州あいさつ運動等の啓発活動に取り組んでいます。南信州地域でもこれに合わせ、街頭啓発活動や広報活動等の青少年の健全育成推進活動を実施しました。



◆ 南信州地域会議の開催状況

7月の街頭啓発



11月の街頭啓発

開催日	令和7年2月7日
参加者	西南部ブロック社会福祉協議会、日本労働組合連合会長野県連合会飯田地域協議会、まいさぼ飯田、まいさぼ下伊那、市町村、飯田警察署、阿南警察署、県機関、南信州子ども応援プラットフォーム
会議内容	令和6年度取組報告・令和7年度事業計画提案 南信州子ども応援プラットフォームの南信州地域会議加入について



(3) 南信州子ども応援プラットフォーム

子どもの居場所「信州こどもカフェ」の普及拡大を図るため、南信州地域で信州こどもカフェを運営している団体や個人、行政機関が集まり、連携して「南信州子ども応援プラットフォーム」を運営しています。



【活動の様子】



イオン飯田店でのフードドライブの開催

※1年間の活動を通して約706kgの食料品の寄付をいただきました。高校生のボランティア活動など様々な若者の活躍の場も担っています。



第1回 全体会議及び活動報告会



こどもカフェの支援1



こどもカフェの支援2

◆ 活動周知への取組

プラットフォーム構成団体の活動を周知するため、各所でパネル展示を実施しました。



夢かなえ食堂

内 容	子どもの食料支援教室・食育交流・多世代交流
開催日	お料理教室：毎月一回（開催日不定）
開催時間	10時～14時
場 所	お食事処・夢（飯田市橋下山）1071～7）
対 象	誰でも
参加費	一回500円
連絡先	0265-49-6822（担当：北村）
H P 等	https://www.facebook.com/yumekanaeshokudo/

Facebook QRコード

※PR※
食料に恵まれて、料理や食事の中で料理に興味を持ってもらい、食育の楽しさを知ってもらえたらと思っています。また、自分が作った食事を世代を超えながら食べてもらうことで自分にも何か出来るようになることが嬉しいです。子ども達に「生きる力」を付けて自分の足で歩いて行ける大人になってもらえたらと思っています。

※特徴※
子ども達の「やりたい」という気持ちを尊重し、作りたいもの、食べたいものを中心にメニュー作りを行います。年齢や気持ちに合わせ、やりたい作業を行います。お米を研ぐことから野菜の皮むき、缶切り、包丁を使ったり火を使ったりなどの作業を大人と一緒にこなしていきます。自分たちの作った食事を世代を超えて地域の方々、高齢者と一緒に食べてコミュニケーションを取り、楽しい時間を過ごします。



**もぐもぐキッチン
うら・ランチ**

内 容	食事作りへの関心を持つことから、自分の身体・健康への関心・食の自立を目指す。
開催日時	毎月一回（土曜日）応募者数により、1日2回開催もある。
場 所	ふたふたふた 調理室（飯田市公民館 飯田市東河内2-35）
対 象	小学生・中学生
参加費	無料
連絡先	0265-2743020（林 宅）
H P 等	メール absoltemis.jamis.or.jp

※PR※
この料理教室が、子どもの居場所となることはもとより、親が仕事などで不在であっても自分でバランスのとれた食事を摂れるようになること、食の自立につながるよう活動していきたい。

※特徴※
学校給食の栄養教諭経験者が、子どもと一緒に料理を作り、家庭でも自ら実践できることを目指す。



6 消防防災

(1) 火災発生状況

令和6年における管内の出火件数は66件で前年と同数です。

出火原因の上位は、たき火、たばこ、こんろ、ごみ焼き、煙突・煙道となっています。

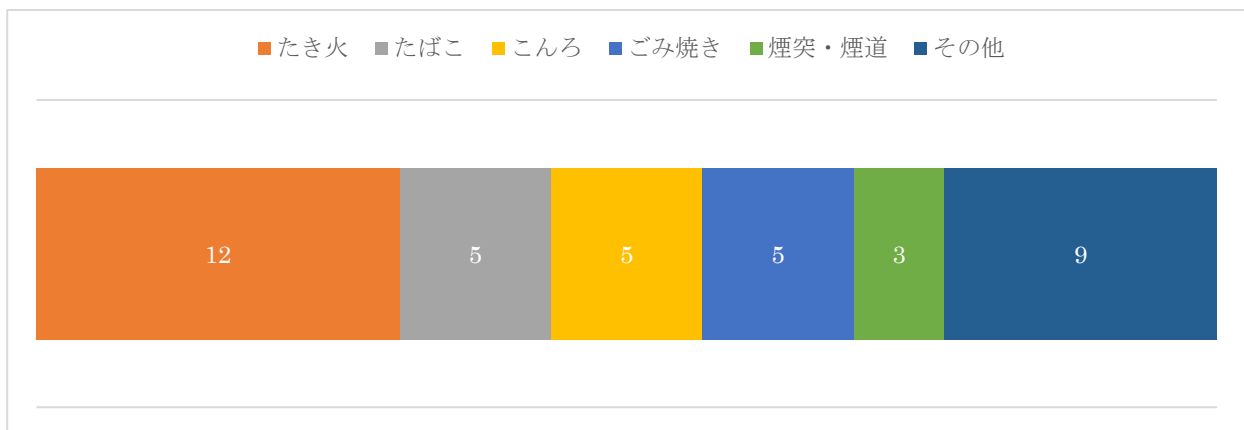
建物焼損床面積は2,735㎡、林野焼損面積は43aで、総損害額については116,859千円となり、前年から30,523千円増加しました。

◆ 火災の概要

項 目			令和5年	令和6年	前 年 比
出火件数（件）	総 数		66	66	±0
	内 訳	建 物	23	38	+15
		林 野	11	2	-9
		車 両	7	6	-1
		その他	25	20	-5
死傷者（人）	死 者		3	1	-2
	負傷者		7	14	+7
建物焼損棟数（棟）			36	74	+38
り災世帯数（世帯）			11	27	+16
り災人員（人）			20	73	+53
焼損面積		建物（㎡）	2,836	2,735	-101
		林野（a）	388	43	-345
損害額（千円）	総 額		86,336	116,859	+30,523
	内 訳	建 物	83,253	109,044	+25,791
		林 野	0	0	±0
		車 両	3,078	7,575	+4,497
		その他	5	240	+235

資料『令和6年 消防統計（飯田広域消防本部）』

◆ 令和6年 主な出火原因（総出火件数66件）



資料『令和6年 消防統計（飯田広域消防本部）』

(2) 消防本部及び消防署（常備消防）の状況

管内の常備消防は1市3町10村を管轄しており、大阪府や香川県より広い地域を1本部4署6分署、216人体制で受け持っています。

地勢的にも約86%が森林、それ以外が宅地や耕地という状況に加え、南アルプスや中央アルプスに囲まれた急傾斜地が多い地域です。

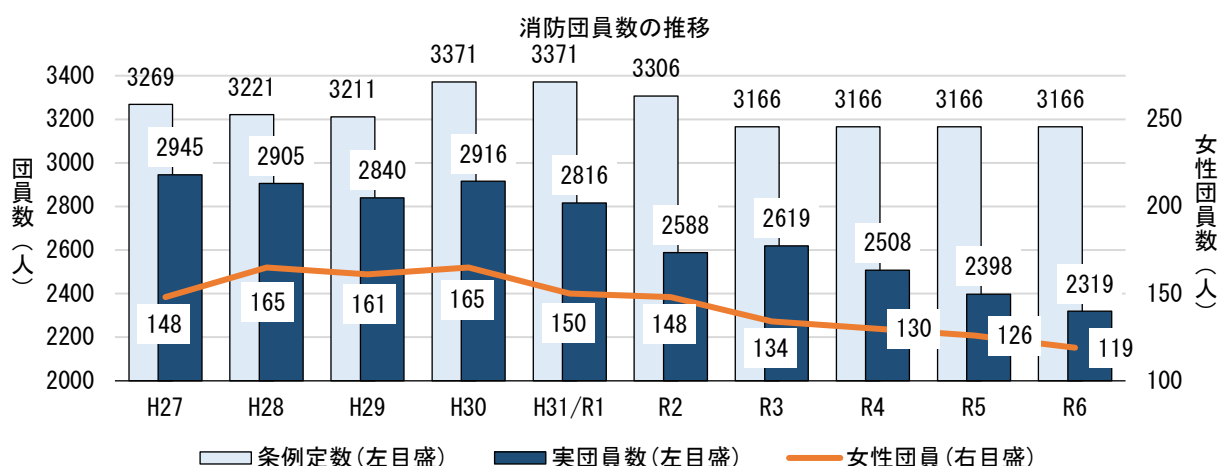
◆ 消防機械の配備状況

消防本部及び消防署（常備消防） （令和6年4月1日現在）				消防団（非常備消防） （令和6年4月1日現在）	
車 種	台	車 種	台	車 種	台
ポンプ車	13	資機材搬送車	3	消防ポンプ自動車	27
小型ポンプ付積載車	2	指揮車	4	小型動力ポンプ付積載車	190
はしご車	1	支援車	3	小型動力ポンプ	54
化学車	1	査察広報車等	15		
救助工作車	2	一般車	5		
水槽車	1	無人航空機（ドローン）	4		
救急車	14				
人員輸送車	1	計	69	計	271

資料『消防年報 2024（飯田広域消防本部）』

(3) 消防団（非常備消防）の状況

令和6年4月1日現在の南信州地域振興局管内の非常備消防は14団（1市3町10村）あり、その団員数は2,319名です。過去10年間の団員数等の推移は次のとおりです。



資料「消防年報 2024（飯田広域消防本部）」

少子高齢化による若年層の減少、地域社会への帰属意識の希薄化等から新規入団者の確保が難しくなっている中、機能別消防団員（OB等）、女性消防団員の加入は団員数確保のプラス材料となっています。

団員数について、令和6年は前年比79人の減少となっています。

管内の14消防団中、12消防団で女性消防団員を採用しています。

（４）災害対応力の向上

管内は、14 市町村すべてが「南海トラフ地震防災対策推進地域」に、11 市町村が「東海地震に係る地震防災対策強化地域」に指定されているのに加え、急傾斜地が多く、土砂災害等により被害を受けやすい地形です。

当地域の県現地機関では、災害時の体制強化を図るため、各種防災訓練、研修会等を合同で実施しています。

◆ 長野県災害対策本部南信州地方部防災訓練

飯田合同庁舎内の県現地機関や市町村等と連携し、防災訓練を実施しています。

令和 6 年度は、出水期を控えた 5 月に風水害を想定した訓練を、11 月には地震を想定した訓練を行い、災害対応能力の強化を図りました。特に、11 月の訓練は外部から専門知識を持った講師を招いたワークショップ型の防災訓練とし、これまでと異なる視点から訓練を行いました。



◆ 県境を越えた防災連携会議

南海トラフ地震等の大規模災害発生に備え、長野県、静岡県、愛知県の各現地機関が県境を越えて連携強化を図っています。

令和 6 年度は、11 月 12 日に静岡県西部地域局（磐田市）で防災連携会議を行いました。

◆ 長野県国民保護共同実動訓練

テロ等の武力攻撃に備え、消防庁、長野県、飯田市による国民保護共同実動訓練を 11 月 7 日に実施しました。長野県で国民保護に関する実動訓練を実施するのは 16 年ぶり 2 回目です。飯田運動公園や飯田文化会館等を拠点に、消防、警察、自衛隊等の各機関が連携し、有事の際の役割について確認・検証を行いました。



化学防護服を着る消防隊員



住民を乗せたバスを護衛しながら避難所へ向かう様子